

甲斐市議会建設経済常任委員会会議録

1. 開催日時 平成28年6月16日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（6名）

委員長	藤原正夫君	副委員長	金丸寛君
	赤澤厚君		小澤重則君
	山本今朝雄君		三浦進吾君

欠席委員（なし）

傍聴議員（8名）

議長	小浦宗光君		五味武彦君
	清水正二君		斉藤芳夫君
	有泉庸一郎君		長谷部集君
	内藤久歳君		保坂芳子君

説明のため出席した者の職氏名

建設産業部長	三井敏夫君	建設課長	下笹俊彦君
建設管理係長	高須秀樹君	都市計画課長	輿石春樹君
緑化推進係長	高野悦夫君	農林振興課長	小澤明君
農林振興係長	保坂義実君	農業委員会 事務局庶務係長	石原大助君
商工観光課長	長田裕二君	観光交流係長	森澤篤史君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	山岡広司
書記	有野恵里		

審査内容

1 条例等審査

議案第48号 市道路線認定の件

2 補正予算審査

議案第47号 平成28年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

3 その他

開会 午後 1時24分

○委員長（藤原正夫君） 改めまして、こんにちは。

ご苦労さまでございます。あいにくの雨というのはふだんのあれですけども、今梅雨どきで恵みの雨ではなからうかと、こんなふうに思います。

今日の現地視察ですけども、ちょっと濡れて、昔の言葉にあります、春雨だ、濡れて帰ろうではなくて、春雨だ、濡れて学ぶというような精神で行きたいと思います。

また、街角にはアジサイの花が淡いピンクやら、紫の本当にかわいらしい可憐な色が、季節らしい花でございます。ここに事務局にも紅一点の人がいますけれども、その人にぴったりではなからうかと、こんなふうに思うんですけども、七変化といいまして、江戸時代は、アジサイは七変化と嫌われた花だそうです。彼女も嫌われないように、ぜひこの1年間支えていただけたらと、こんなふうに思います。これ、録音してないから大丈夫ですから。

今日もよろしく申し上げます。

それでは、会議を開きます。

ただいまの出席議員は6名であります。定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会をいたします。

本日の会議を開きます。

○委員長（藤原正夫君） 本日の委員会は、定例会初日に付託されました議案審査を行います。審査については、一問一答で簡潔に質問され、また、市当局説明もわかりやすい説明にしていきたいと思います。

なお、本日は委員会条例第19条第1項の規定により、委員外議員の傍聴を許可しますので、ご承知おきください。審査については、委員の質疑を受けた後、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。傍聴議員の質疑は、さきの申し合わせのとおり、会派の割り当て人数により行います。質問は1問として、再質問は1回までといたします。

審査に入る前にお諮りをいたします。本日は円滑な審査を行うため、お手元に配付した審査日程によりまして審査を行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。そのようにしたいと思います。

それでは、初めに条例等の審査を行います。

議案第48号 市道路線認定の件につきましてを議題といたします。

本日は、過日の委員会で確認した路線以外の現地踏査を行います。

それでは、本日の路線について当局に説明をお願いをいたします。

下笹建設課長。

○建設課長（下笹俊彦君） お疲れさまです。

それでは、市道認定につきまして、ご説明させていただきます。

議案第48号 市道路線認定につきましては、道路法第8条の規定により、本定例市議会において議決をお願いするものでございます。

議案集の19ページ、20ページをお願いいたします。位置図につきましては、9ページ、10ページになります。議案集の19ページでご説明をさせていただきます。

今回、認定をお願いする路線につきましては、9路線になります。

5月26日に開催された常任委員会で、既に路線番号の587番から592番の6路線につきましては、現地視察をお願いしておりますので、本日は残りの路線番号294番から、20ページの路線番号296番までの3路線について現地視察をお願いし、さきに視察していただいた路線と合わせ、9路線について認定をお願いするものであります。

本日確認をお願いする路線につきましては、19ページの一番下でございます路線番号294番、烏塚宅造1号線、続いて20ページにございますが、路線番号295番、烏塚宅造2号線、路線番号296番、切附宅造1号線の3路線をお願いするものであります。

本日確認していただく路線につきましては、竜地字烏塚地内の2路線と、下今井字切附地内の1路線で、いずれも宅地分譲に伴う開発区域内の路線認定でございます。

現地を確認いただく前に、現地の状況をちょっと説明させていただきたいと思います。

路線番号の294番、烏塚宅造1号線及び295番、烏塚宅造2号線につきましては、昨年6月8日に甲斐市へ帰属されておりますが、本年の5月中旬の時点において、盛り土のところ造成をしたという経緯がございまして、舗装面の沈下が確認されました。

開発業者に補修指示を行っていたところですが、先週、これは6月14日に改修した旨の報告を受け、現地を確認したところでございますが、現在、その補修が十分と言えない状態がございまして。

開発業者の株式会社泰栄企画は、開発協定書により2年間の瑕疵担保による補償義務がございます。また、建設課、私のほうで補修の確約書をとってございます。

それで、現状は今日見ていただきますと非常に汚いような状態になっておりますが、舗装の完全復旧を6月末日までに実施するというので確約書をとってございますので、きょうは、そこを確認していただいた中でお願いをしたいと思っております。

詳細につきましては、現地で担当からご説明させていただきます。

本日は非常に天候が悪い、足元が悪い中で申しわけございませんが、よろしく願いしたいと思っております。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） 説明が終わりました。

質疑については、現地踏査の後、委員会室へ戻ってから行いたいと思っております。

ここで現地踏査に係る委員派遣についてお諮りをいたします。

お手元に配付した派遣計画書により委員を派遣することにご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。

よって、計画書のとおり派遣することに決定をいたしました。

なお、派遣承認申請は委員長において作成し、議長に提出したいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。そのようにいたします。

ここで暫時休憩をいたします。

休憩 午後 1時32分

再開 午後 2時30分

○委員長（藤原正夫君） 会議を再開します。

現地踏査、ご苦労さまでございました。

それでは、これより審査に入ります。

先ほどの現地踏査を踏まえ、議案第48号 市道路線認定の件について委員の質疑を受けます。

質疑ございますか。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） さっきのように早くから説明を受けて、若干の問題があるということで、それはある程度やむを得ないのだけれども、この業者この前の敷島のときも、その開発業者だったんだ、たしか。だから、そういうものも十分、今後よく指導してやらないと、ほかの業者がなければ、この前俺らが行ったときも、敷島のあそこの農協入ったときも、そんなところで、米山議員がこの前指摘もしたんだけど、同じ業者が何度もっていうのは好ましくないで、一応業者とは関係をとっているということで、それはそれでいいんだけど、今後十分指導してもらって、こういうことが二度とないように、きつてもらおうように心がけていただきたいんですけども、何か一つ。

○委員長（藤原正夫君） 答弁を求めます。

下笹課長。

○建設課長（下笹俊彦君） ありがとうございます。

今回の件につきましては、従前にもそういった事例があったというお話を伺いました。今後は、都市計画のほうになります、開発指導担当あわせて私たち建設課のほうと、そういった注意をしながら、今後の対応をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） ただいま、294と295を見た中で、ちょうど境目かな、隣地ですね、コンクリート壁が出ているんですよ。あの状態を見ると、ちょっと危険だと思うんですけども、その点に関しては何か対策、あるいは交渉をなさっているかどうかお聞きしたいと思ひます。

○委員長（藤原正夫君） 下笹建設課長。

○建設課長（下笹俊彦君） 先ほど行った角のところのトンがったのということですね。

開発の関係になりますので、また都市計画のほうと協議しながら、今後の対応をしていきたいと思ひます。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 見たときに、ちょうど角で、あの状態だと大変に危険とまた、現在見た段階でも、何かぶつかったというふうなそんな形でコンクリートが壊れていたと思うときに、あれだけのとんがったものが、角のところで現状のままだと大変まずいなど。ということは、よその隣地の関係だと思えますから、隣地にもご相談をして、そういう今後もし事故とか、子供たちがぶつかったとかということが起きないように、ぜひその対策を立てていただきたいということで、これは要望でいいです。お願いします。

○委員長（藤原正夫君） 今のは要望ということで、前のですね。

ほかにございませんか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（藤原正夫君） なければ、委員の質疑を終了します。

続いて、傍聴議員の質疑を受けます。

質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（藤原正夫君） よろしいですね。なければ、これで傍聴議員の質疑を終了します。

これより討論、採決を行います。

初めに、議案第48号 市道路線認定の件について、討論、採決を行います。

まず、本案に対する討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 討論なしと認めます。

これより議案第48号を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決をすべきものと決定をされました。

なお、委員長報告につきましては、ご一任願いとございます。

以上で、議案第48号を終わります。

これで、条例等の審査を終了します。

ここで職員の入れかえのため、暫時休憩をいたします。

休憩 午後 2時35分

再開 午後 2時36分

○委員長（藤原正夫君） 会議を再開します。

次に、補正予算の審査を行います。

議案第47号 平成28年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

審査に入る前にお諮りします。補正予算の内容により説明を受け、質疑を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） それでは、そのようにいたします。

まず初めに、都市計画課より、第8款土木費、第4項都市計画費について説明をお願いいたします。

興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 大変お疲れさまです。

それでは、都市計画課から6月定例議会に提出をさせていただきました補正予算につきまして説明をさせていただきます。

まず、補正予算説明書の14、15ページをお願いいたします。議案書につきましては15ページになります。

予算科目8款土木費、4項都市計画費、4目公園管理費、001都市公園市立公園維持管理事業の工事請負費448万2,000円を増額させていただくものでございます。財源内訳につきましては、一般財源でございます。

内容につきましては、赤坂台総合公園内の東側の円形の休憩施設付近に、大小兼用洋式便器2台の簡易トイレを設置する経費でございます。

赤坂台総合公園につきましては、2万5,000平米の芝生広場があり、展望塔の休館日を除く平日に、芝生広場の東側約半分をグラウンドゴルフ場として貸し出しを行っています。連日各団体により利用がされております。

このような中、競技中にトイレを使用する場合、展望塔及び公園南側のトイレを使用するわけですが、競技を行っている場所から離れていることや、来場者が多い場合などは不便を感じる方も多との意見が寄せられておりますので、今回対応させていただくものでござい

ます。

以上が補正予算の説明とさせていただきます。よろしく願いをいたします。

○委員長（藤原正夫君） ご苦労さまです。説明が終わりました。

これより説明に対する委員の質疑を行います。

質疑はありませんか。よろしいですか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 赤坂台にトイレが今東側にはないわけでございます。この辺にトイレを設置するということでしょうけれども、下水道対応でできるのかどうか、お尋ねしたいと思えます。

○委員長（藤原正夫君） 興石都市計画課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 今回、今予定をしているトイレにつきましては、水洗方式のバイオマストイレを予定しております。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） このトイレを設置するんですが、夜とかそういうときは鍵をかけるのか、管理上はどういう管理をしていくんでしょうか。

○委員長（藤原正夫君） 説明を求めます。

興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 通常、この設置するトイレについては、24時間使えるような予定しております。

○委員長（藤原正夫君） ほかございませんか。よろしいですね。

〔発言する者なし〕

○委員長（藤原正夫君） なければ、これで委員の質疑を終了します。

続きまして、傍聴議員の質疑を受けます。

質疑ございますか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） ちょっと場所の確認をもう一回したいんですけども、場所は南側にあるよね。それで、管理棟のところであって、あとどこにつけるの。よくわからんのも。

○委員長（藤原正夫君） 興石課長。

○都市計画課長（輿石春樹君） 芝生広場がありまして、展望塔があって芝生広場がありまして、この約半分の東側を今グラウンドゴルフで開放しています。

そのちょうど東側になりますけれども、円形のちょっと東屋的なものがあるんですけども、その横のほうに、排水等が要らないバイオマスのトイレということで、電気さえあれば、それでトイレができるというものを設置をする予定でございます。

○委員長（藤原正夫君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） あと、内容的には男女の水洗で、何基とか、それからあと、面積とかその規模はどのくらいの規模。

○委員（小澤重則君） 輿石課長。

○都市計画課長（輿石春樹君） 男女1基ずつということで、大小兼用の洋式の便器を2基つけます。あと広さ、縦横約2.5メートルくらいで、高さが3メートルくらいのものを予定しております。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。ほかにありますか。よろしいですね。

[発言する者なし]

○委員長（藤原正夫君） ないようですので、これで傍聴議員の質疑を終了します。

これで、都市計画課関係の質疑を終了します。

次に、農林振興課より第6款農業水産費、第1項農業費について説明をお願いいたします。

小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） お疲れさまでございます。よろしく願いいたします。

それでは、農林振興課の6月の補正予算につきましてご説明をさせていただきます。

補正予算説明書の12、13ページをお願いいたします。

第6款農林水産業費、第1項農業費、第1目農業委員会費につきましては、補正前の額が883万6,000円に対しまして、20万1,000円の増額をお願いし、903万7,000円とするものでございます。財源内訳につきましては、全額一般財源でありまして、一番右側の欄になります001農業委員会費20万1,000円を増額補正するものでございます。

内容につきましてご説明させていただきます。

今まで県内に4つありました農業共済組合が本年4月に合併し、1県1組合の新たな組織として、山梨県農業共済組合がスタートいたしました。農業委員には共済組合からも推薦を受け選任をしておりますが、合併前には北巨摩農業共済組合と峡中南部農業共済組合から1

人ずつ選任をしておりました。

当初予算の積算時に、合併に伴う農業共済組合から推薦された農業委員の取り扱いにつきまして、山梨県農業会議において全国農業会議所に確認したところ、合併による農業委員は、原則退任となる旨方針が示されました。そのため、2人減の24人で委員報酬及び共済費を計上いたしました。

その後、全国農業会議所から、改正農業委員会法に伴い、合併で解散した場合であっても改めて合併後の農業共済組合等の推薦を受けることで、任期満了までの間引き続き農業委員として在任できる旨、見解が示されたところであります。

これを受けまして、新しくできました山梨県農業共済組合から1人の委員の推薦を受けましたので、4月25日に任命をしたところでございます。

以上のことから、農業委員が25人となりましたので、報酬及び共済費1人分を今回増額補正させていただくものでございます。

次に、第3目農業振興費につきましては、補正前の額が8,193万6,000円に対しまして、73万円の増額をお願いし、8,266万6,000円とするものでございます。財源につきましては、全額一般財源でありまして、今回新規事業となります、一番右側の欄、018地域おこし協力隊費73万円を増額補正するものでございます。

内容につきましては、別冊になります甲斐市定例市議会資料をお願いいたします。こちらの4ページをお願いいたします。

まず、地域おこし協力隊につきまして、ご説明をさせていただきます。1の目的にありますとおり、国では、都市部から人口減少や高齢化等の進行が著しい地方へ、人材の育成と確保、定住、定着を図るため、地域内の人材を積極的に誘致し、地域力の創造と地方再生を目的として、平成21年に地域おこし協力隊を創設いたしました。

本市におきましては、耕作放棄地の解消と、収益性の高い農業による魅力ある農業の確立を目指す取り組みを行う竜王赤坂地区活性化事業におきまして、遊休農地を解消する手段として、焼酎に適した小金千貫を原材料として耕作を行っておりますが、今後農業を主体としたなりわいとなるようにしていくためにも、専門の従事者を育成する必要がございます。

そのため、地域おこし協力隊を導入しまして、農業従事者を育成するとともに、焼酎大士の販売等地域ブランドの確立にも隊員を活用するほか、棚田保存会やゆうのう敷島への支援などにも活用し、市の農林業施策を初めとする地域の活性化につなげていくことを目的としております。実施主体は甲斐市でございます。

次に、活動内容につきましては、1番としまして、農林業の振興に関すること、2、地域ブランドの確立、発信のための企画及び実施に関すること、3、地域情報や魅力の収集、地域資源の掘り起こし等に関すること、4、地域行事等の支援に関すること、5、その他市長が必要と認める活動としております。

次に、活動期間につきましては1年間とし、最長3年まで延長することができるとしております。

次に、国の支援でございますが、地域おこし協力隊取り組み自治体に対し、特別交付税による財政支援を行う支援となっております。

まず、協力隊員の募集に要する経費といたしまして、1団体当たり上限200万円となっております。今回の補正経費につきましては、こちらが対象経費となっております。

次に、協力隊員の活動に要する経費といたしまして、協力隊員1人あたり上限400万円となっております。

なお、報奨費等は平成27年度から最大250万円まで支給可能となっております。活動旅費、消耗品、事務費、研修費等につきましては、報奨費を250万円と支給した場合、150万円までが支給可能となっております。

③といたしまして、最終年次または任期終了翌年の起業する者が該当となりますが、1人当たり上限100万円となっております。

右側のページになります。次に、全国の隊員数、取り組み団体数の推移となっております。隊員の約4割は女性となっており、隊員の約8割が20歳代と30歳代となっております。また、任期終了後、約6割が同じ地域に定住している結果となっております。

次に、活動までの基本的な流れでございます。初めに、予算措置ということで、本定例会に補正をさせていただいております。次に、協力隊設置要綱等の作成ということで、要綱案が次のページ以降に掲載させていただいております。補正予算のご可決をいただきましたら、隊員の募集を7月から9月の予定で行いたいと思います。募集人員が集まりましたら、10月から11月の予定で、隊員の選考、面接を行います。その後、12月をめどに隊員の決定を行う予定でございます。隊員が決まりましたら、翌年の1月から3月に事前説明及び準備を行い、来年度の4月に隊員の委嘱、活動開始となる予定でございます。

以上、地域おこし協力隊の概要についての説明となります。

続きまして、また補正予算の説明書の12、13ページのほうにお戻りいただきたいと思っております。補正の内容につきましてご説明申し上げます。

概要でご説明申し上げましたとおり、地域おこし協力隊の募集を行う軽費となっております。東京で行われる移住相談会等に参加する旅費、資料等を作成する事業費、郵便料の役務費、来年の3月分の住居借り上げ料の使用料及び賃借料を補正させていただくものでございます。

以上で、6月補正予算の説明とさせていただきます。

よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（藤原正夫君） 説明が終わりました。

これより説明に対する委員の質疑を行います。

質疑ありませんか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） ただ今課長のほうからお話があった農業委員会の1人増えたということ、農業委員さんのほうの1名増えたのは、特別資格とか、あるいは逆に言えば、条件があるか、その辺をちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） 今回につきましては、共済組合からの推薦の委員さんでございます。

○委員長（藤原正夫君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 共済組合からの推薦ということは、甲斐市の人を推薦されたということと理解していいですか。それとも、他の地区からの推薦でございますか。お尋ねいたします。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） 甲斐市内の農業者でございます。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございませんか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 地域おこし協力隊員ということで、大変将来に展望が開けるのかなと思うんですけども、協力隊員、これから募集をするということで、一応目安としては、どのくらいの隊員を考えているか、もしそういう規約があるのか、お尋ねしたいと思います。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） 今回は、3名を予定しております。

○委員長（藤原正夫君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 3名ということですから、年齢は余り関係ないということでしょうけれども、やっぱり逆に言うと、農業に携わっている人を中心に考えるのか、全然そういう分野でなくてもよろしいのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） まず最初に年齢ですけれども、今回20歳以上40歳以下の方を予定しております。農業経験につきましては、特に決めておりません。やっていなくても、全然募集していただいて結構でございます。

○委員長（藤原正夫君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 3名ということでございますけれども、例えば地域おこし協力隊ということで、そういうユニフォームを、作業着をつくるのか、はっぴをつくるのか、そういうふうなことも考えているのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） その辺につきましては、来年度の予算計上になりますけれども、一応作業着等は貸与したいと考えております。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。ほかにございませんか。よろしいですね。

[発言する者なし]

○委員長（藤原正夫君） ないようですので、これで委員の質疑を終了します。

続きまして、傍聴議員の質疑を受けます。

傍聴議員の質疑ございますか。

清水議員。

○議員（清水正二君） 今、地域おこし協力隊の国のほうからの支援というふうな形があるんですけれども、この隊員の資格というか、起業をされる方に支援というふうな形でもって、国のほうの支援というのがあるんですけれども。その企業、何か地域おこし協力隊の隊員の方が、例えば募集に応募する場合のそのものというのは、何か起業をしている人、それとも農業に限定をされた起業なんですか。ちょっと教えてください。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） 起業につきましては、今回、先ほども言いましたとおり、活動期間を1年、最長3年間ということでは予定をしております。

先ほどの起業の100万円につきましては、3年たった後に、翌年度以降に起業を起こす場合、100万円の支援のほうは国のほうの特別交付金で見ることができます。

今募集に当たっては、何をするかというのは、決めていただいてなくても、私どものほうの募集要項、農業にかかわるようなことで、協力隊に隊員として応募するという方が応募していただければ結構です。

その間に、農業であっても、また違うことを探すなり、そういったことをしていただいた後に、3年後に甲斐市に定住していただいて、定職を持っていただくということを目標に、3年間頑張ってもらいたいような形を予定しております。

○委員長（藤原正夫君） 清水議員。

○議員（清水正二君） この際の募集の方法というのは、当然広報であるとかネットであるとかでやると思うんですけども、甲斐市の地域の中のそういった農業団体であるとか商工業団体とか、そういったものの連携とかというのは考えておられるんですか。

○委員長（藤原正夫君） 小澤課長。

○農林振興課長（小澤 明君） 今回につきましては、地域おこし協力隊、条件としては3大都市圏ということで、都市のほうから来た方のみが対象となっておりますので、市内とか県内という方は対象ではございません。

先ほどの市内のそういった農業団体との連携がということですけども、今回につきましては甲斐市で募集しますので、その後の活動の内容の中で、先ほどのゆうのう敷島とか、棚田保存研究会のほうの活動内容にもかかわっていただければと考えております。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございますか。よろしいですね。

[発言する者なし]

○委員長（藤原正夫君） なければ、傍聴議員の質疑を終了します。

これで、農林振興課関係の質疑を終了します。

続きまして、商工観光課より第7款商工費、第1項商工費について説明をお願いいたします。

長田商工観光課長。

○商工観光課長（長田裕二君） お疲れさまです。

それでは、商工観光課からお願いします。補正予算について説明いたします。

補正予算説明書の14、15ページをお願いいたします。

7款商工費、1項商工費、3目観光費、細目010観光推進事業費、11節需用費、細節04、印刷製本費110万2,000円の減額をお願いするものです。

減額の理由につきましては、平成28年度の商工観光課の当初予算で出稿を予定しており

ました観光パンフレット外国語版印刷は、平成28年3月議会において、企画政策部秘書政策課から、補正と繰越明許をお願いし議決をいただいた地方創生加速化交付金事業の中で、海外向け甲斐市PRパンフレット事業として出稿することとなりましたことから、商工観光課で計上してありました当初予算の減額をお願いするものです。

以上、よろしく願いいたします。

○委員長（藤原正夫君） 説明が終わりました。

これより説明に対する委員の質疑を行います。

質疑ありますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ないようですので、これで委員の質疑を終了します。

続いて、傍聴議員の質疑を受けます。

質疑ございますか。よろしいですか。いいですね。

〔発言する者なし〕

○委員長（藤原正夫君） これら傍聴議員の質疑を終了します。

以上で、商工観光課関係の質疑を終了しました。

議案第47号 平成28年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）の質疑を終了をいたします。

これより本委員会に付託されました議案第47号 平成28年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）について討論、採決を行います。

本案について、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 討論なしと認めます。

これで討論を終了し、これより本案について採決を行います。

お諮りをいたします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

なお、委員会報告につきましては、ご一任願います。

以上で議案第47号の審査を終了します。

次に、その他を議題といたします。

議員の皆様から、お聞きしたいことがありましたらお願いをいたします。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） この機会だからちょっと聞いておきたいんだけど、敷島の総合公園、これ都市計画課の管理なのかな、あそこの周りのアカマツがほとんど枯れているじゃない、承知はしていると思うけれども。余りにもみっともないし、基本的に。特に矢木羽湖に行く道路側のアカマツが、ほとんど全滅になっているので、あれも余りみっともないから、できるだけ早く処理をしたらどうかと思うんだけど、何かその辺の計画とかあるんですか。

○委員長（藤原正夫君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 議員さんのおっしゃるとおりで、私らもちょっと気になっていまして、中央森林組合の専門の方に現地を見ていただいて対応するような形を今考えておりますので、早目に対応したいと思いますのでよろしく願いいたします。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございませんか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） たまたま今日は涼しいということで、私も建設にあれして、私ども議員の作業着が長袖というか冬用だけなんですよ。

やっぱり、これから現場に出たりとか見たり、半袖では危険だという説もございませぬけれども、行動を見ているとやっぱり夏は半袖というふうに思うわけですよ。これ、自分たちで出し合ってもいいかなと思うんですけども、やっぱり作業着として夏用の作業着が必要だと思ひますけれども、これ、一応意見として願ひします。

○委員長（藤原正夫君） わかりました。

私が意見を答弁するわけにいかないですけれども、これは、もうずっと前々からのことで、前赤澤委員長も、ちょっとその他になりますけれども、赤澤委員長が何かつくってくれるなんていう、私たちに言った経緯もないことはないんですけども、それは冗談はさておきまして、自腹を切っても、ぜひ、きょう金丸委員さん、また小澤委員さんが着ているように、やっぱり長袖だと、本当は長袖のほうがけががなくていいんですけども、そうは言ってもとてもこれではあれなんで、薄いものから半袖ということで、この問題に関して、また私のほうからも議長に問い合わせ、議長交際費でも使えればいいんですけども、それがなかったら、本当に自腹を切っても。

早くしないと、今年が終わってしまうので、来年1年となるとまた選挙になるから、また

だめになる話になると思いますから、早急に私のほうから議長のほうに報告して、実行するようになりたいと思います。

事務局のほうで、何か策は全然ないですか。いいですよ、休憩にしますよ。いろんなこと。大丈夫ですか。

では、休憩します。

休憩 午後 3時04分

再開 午後 3時05分

○委員長（藤原正夫君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

今その他ですけれども、ほかにございますか。よろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

事務局からは何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 以上をもちまして、当委員会に付託されました議案は全て終了をいたしました。

委員の皆様には、非常に慎重審議、大変ありがとうございます。

これにて、建設経済常任委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時05分